

平成 24 年 度
国立熊本高専
編入学者募集要項

熊本キャンパス

(電子工学科・電子制御工学科・情報工学科) 編入試験用

(出願書類添付)



熊本高等専門学校 熊本キャンパス

〒861-1102 熊本県合志市須屋2659-2

電話 096-242-6197 (学生課)

<http://www.kumamoto-nct.ac.jp/>

本募集要項は、熊本電波高専の教育課程に基づく学科（情報通信工学科、電子工学科、電子制御工学科、情報工学科）について記載しており、平成 24 年度の編入学者に対して適用されるものです。

教育理念と教育目標

1. 教育理念

電子・情報系技術者として国際的に活躍することができ、かつ健全な精神を持った技術者の育成

2. 教育目標

電子・情報技術のための基礎学力と人文・社会・自然科学に対する広い知識と教養を身につけ、環境、異文化、国際社会に対して真摯な姿勢と自ら考える視点を持った中で、次のような技術者教育を目標とする。

- (1) コンピュータ技術と電子・情報系の基本技術を身につけた技術者の育成
- (2) 日本語・英語のコミュニケーション能力を持ち国際的に活躍できる技術者の育成
- (3) 実践的技術能力に加えて柔軟な発想能力のある創造的技術者の育成
- (4) 人類への貢献意識を持ったチャレンジ精神豊かな技術者の育成

アドミッションポリシー（編入学者受入方針）

電子・情報技術修得のための基礎学力と人文・社会・自然科学に対する広い関心を持ち、環境、異文化、国際社会に対して真摯な姿勢と自ら考える視点を持っていることを基本として、本校は次のような人を広く求めます。

- (1) 理工系科目の基礎的知識を持ち、コンピュータ技術と電子・情報系の基本技術の修得を目指す人
- (2) 日本語及び英語での基本的なコミュニケーション能力を持ち、将来国際的にも活躍したいと思っている人
- (3) 実践的技術能力に加えて、発想豊かな創造的技術者を目指す人
- (4) 人類全体へ貢献したいという希望を持ち、チャレンジ精神豊かな技術者を目指す人

編 入 学 者 募 集 要 項

1. 募集学科・人員・編入学年

学 科	募 集 人 員	編 入 学 年
電 子 工 学 科	各 学 科 若 干 名	第 4 学 年
電子制御工学科		
情 報 工 学 科		

2. 出願資格

次のいずれかに該当する者で、在籍（出身）学校長が推薦する者としてします。

- (1) 高等学校を卒業した者又は平成 24 年 3 月卒業見込みの者
- (2) 中等教育学校を卒業した者又は平成 24 年 3 月卒業見込みの者

3. 志望学科

志望学科は、第 2 志望まで選ぶことができます。

4. 願書受付

- (1) 受付期間 平成 23 年 6 月 27 日（月）から 7 月 1 日（金）まで（必着）とします。
なお、郵送する場合は、必ず書留とし、封筒の表に「編入学願書在中」と朱書してください。
- (2) 受付時間 午前 8 時 30 分から午後 5 時まで。
- (3) 受付場所 熊本高等専門学校 熊本キャンパス 学生課

5. 出願手続

出願者は在籍（出身）学校長を経由して、次の書類を熊本高等専門学校 熊本キャンパス 学生課に提出してください。

- (1) 編 入 学 願 書 所定の用紙（本要項添付）に必要事項を記入したもの
- (2) 卒業（見込）証明書 在籍（出身）学校所定の用紙により、学校長が作成したもの
- (3) 調 査 書 在籍（出身）学校所定の用紙により、学校長が作成したもの
- (4) 推 薦 書 所定の用紙（本要項添付）により、学校長が作成したもの
- (5) 受 験 写 真 票 本要項添付の用紙に必要事項を記入し、平成23年4月以降に撮影した正面・上半身・脱帽（縦5.0cm、横3.5cm）の写真を所定の台紙に貼ったもの

- (6) 返信用封筒 1 通 受験票を送付するためのもので、本人のあて名（郵便番号・住所・氏名）を明記し、80 円切手を貼ったもの。ただし、願書を持参する場合は不要
- (7) 入学検定料 16,500 円 本要項に添付の振込用紙に必要事項を記入して、銀行の窓口で振込んでください。この振込金受取書をもって本校の領収書に代えます。なお、振込金受取書・振込受付書（学校提出用）を願書の裏面に貼付の上提出してください。

個人情報の取扱い

編入学志願者から提出された編入学願書や調査書等に掲載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった編入学者選抜を通じて取得した個人情報は、編入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- 1 入学後の教育・指導
- 2 入学料、授業料の免除申請の審査
- 3 奨学金申請の審査
- 4 授業料等諸納金の本校会計事務システムへの登録
- 5 熊本高専及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

6. 選抜方法

入学者の選抜は、学力検査、調査書及び面接の総合判定によります。

(1) 学力検査科目及び出題範囲と配点

学 力 検 査 科 目		出 題 範 囲	配 点
一 般 科 目	英 語	英語 I	100 点
	数 学	数学 I、数学 II	100 点
	小 論 文	課題小論文	50 点
専 門 科 目		情報技術基礎、電気基礎	200 点

(2) 面接の配点 150 点

(3) 学力検査、面接の日時及び検査場

期 日	試 験 時 間	科 目 等	検 査 場
7 月 21 日 (木)	9:00 ～ 9:50 (50 分)	英 語	熊本高等専門学校 熊本キャンパス
	10:00 ～ 11:20 (80 分)	数 学	
	11:30 ～ 12:20 (50 分)	小 論 文	
	13:10 ～ 15:10 (120 分)	専 門 科 目	
	15:20 ～	面 接	

※集合時間（午前 8 時 40 分）までに 1 号棟玄関ロビーで受付を済ませてください。

7. 合格者発表

平成 23 年 7 月 27 日（水） 午前 9 時

合格者受験番号を本校に掲示するとともに、選考結果を書面により本人及び在籍（出身）学校長に通知します。

なお、選考結果に関する問い合わせには、一切応じません。

8. 入学確約書の提出

合格通知書を受けた者は、平成 23 年 8 月 3 日（水）までに「入学確約書」を提出してください。

9. その他

(1) 出願用紙の郵送を希望する場合は、熊本高等専門学校熊本キャンパス学生課（電話 096-242-6197）あて請求してください。

(2) 身体等に障害のある入学志願者で、受験上及び修学上特別な配慮を希望する者は、平成 23 年 6 月 22 日（水）までに熊本高等専門学校熊本キャンパス学生課へ相談してください。

(3) 出願書類受理後は、いかなる理由があっても、記載事項の変更、出願書類及び入学検定料の返還は認めません。ただし、次に該当した場合は、払込済の入学検定料を返還します。

① 入学検定料を振り込んだが出願しなかった（出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合

② 入学検定料を誤って二重に振り込んだ場合

＊返還請求の方法

返還請求の理由、志願者氏名（氏名の右側に押印願います。）、現住所、郵便番号、連絡先電話番号、振込口座〔銀行名、支店名、普通預金の口座番号、口座名義（ふりがなも記入してください。）、志願者氏名と口座名義が異なる場合は志願者との続柄〕を明記した検定料返還請求願（様式は問わない。）を作成し、必ず「振込金受取書・振込受付書（本人保存）」を添付して速やかに請求してください。

※ 請求先 熊本高等専門学校 八代キャンパス 管理課 財務係

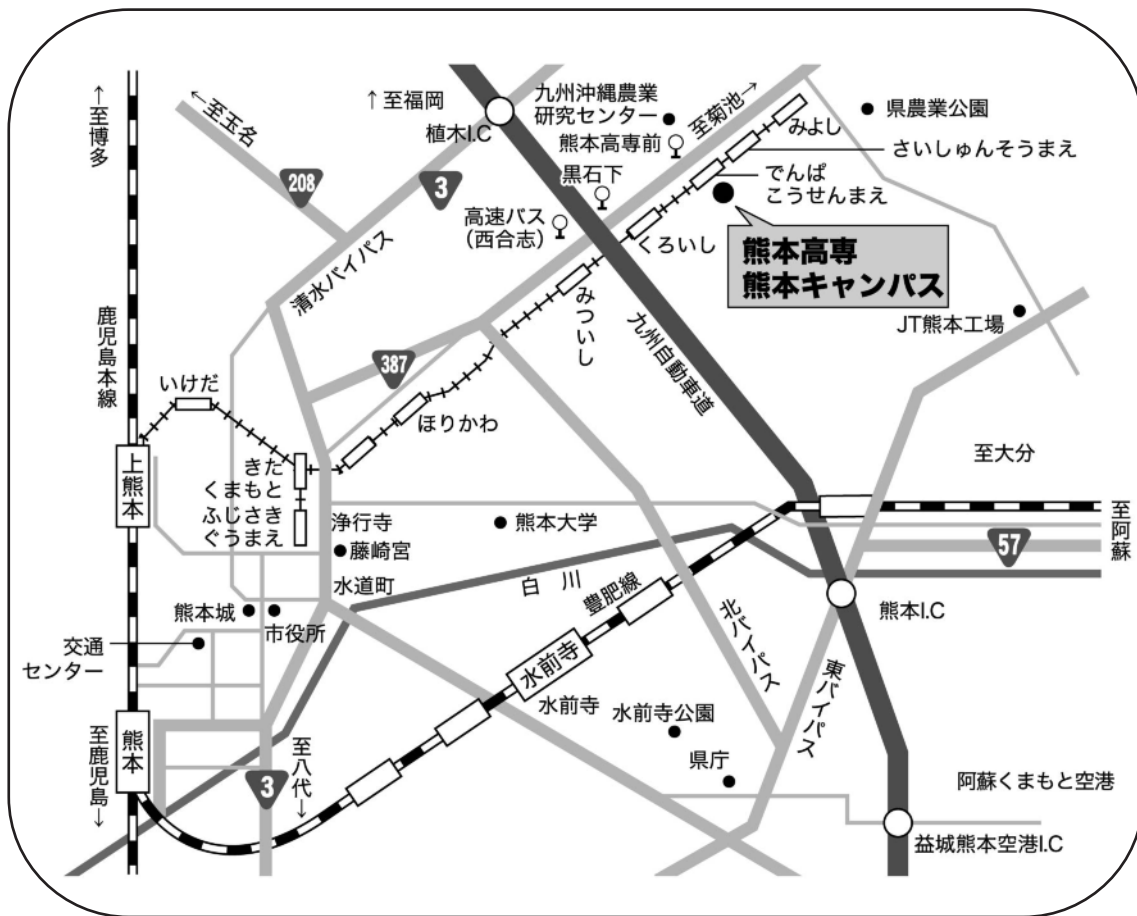
電 話 0965-53-1228（直通）

(4) 学力検査当日の集合時間（午前 8 時 40 分）に遅れないように注意してください。

なお、当日は受験票、筆記用具、消しゴム、弁当を持参してください。（昼食は学生食堂を利用できます。）

(5) その他編入学に関することは、熊本高等専門学校熊本キャンパス学生課にお問い合わせください。

熊本高専 熊本キャンパス案内図



■交通案内

① 熊本電鉄（バス）

- ア． JR「熊本駅」から北1・北3系統の菊池温泉行又は菊池プラザ行（田島経由を除く。）に乗車（約50分）。「熊本高専前」下車、徒歩2分
- イ． 熊本市内の交通センター（乗り場18番）から北1・北3系統の菊池温泉行又は菊池プラザ行（田島経由を除く。）に乗車（約40分）。「熊本高専前」下車、徒歩2分

② 熊本電鉄（電車）

- ア． 「藤崎宮前」から御代志行に乗車（約25分）。「電波高専前」下車、徒歩2分
- イ． 「上熊本」から北熊本行に乗車（約10分）。「北熊本」で御代志行に乗り換え（約20分）、「電波高専前」下車、徒歩2分

③ 九州自動車道バス

- ア． 「西合志」下車、徒歩約25分
- イ． 「西合志」下車、菊池温泉行又は菊池プラザ行の熊本電鉄（バス）「黒石下」に乗車（約3分）。「熊本高専前」下車、徒歩2分
- ウ． 「西合志」下車、御代志行の熊本電鉄（電車）「三石」に乗車（約3分）。「電波高専前」下車、徒歩2分

④ 阿蘇くまもと空港から車で約40分

学 校 案 内

熊本電波工業高等専門学校と八代工業高等専門学校は、平成 21 年 10 月 1 日に高度化再編し、新しく熊本高等専門学校となりました。

概存の学科は新しい高専に移管されていますが、在校生が卒業するまでの間、教育課程はそのまま継続しますので、ご安心ください。

1. 目 的

本校は 5 年間の一貫した教育により、豊かな教養と高度の専門技術を身につけた技術者を養成することを目的としています。

2. 修 業 年 限

第 4 学年に編入学し、修業年限は 2 年となります。

3. 学科及び専攻科の概要

(情報通信工学科)

テレビやラジオをはじめとして、携帯電話や無線 LAN そして GPS など情報通信を利用したサービスは、今日、私達の生活に無くてはならないものとなっています。そして、情報通信の技術は、今後ますます進展し、IT 社会の実現に向けて、より便利で高度なサービスが提供されることでしょう。

私たちの学科では、この情報通信の分野で活躍する技術者の育成を目標としています。低学年の専門科目では、電気、電子、コンピュータの基礎を学習します。そして、高校からの編入学年である 4 年生からは、情報通信工学の基盤技術の習得とともに、通信システムやネットワーク技術あるいは情報加工技術（CG や画像処理など）といった専門的な内容の学習ができます。

情報通信工学科では、卒業時まで、通信技術（第一級陸上無線技術士。第一級陸上特殊無線技士の資格は卒業時に認定で取得可）、情報技術（IT パスポート試験、マルチメディア検定）、語学（実用英語検定 2 級等）の三つの資格取得を目標にしています。このような資格・検定は、進学や就職の際にも高く評価されています。

卒業生は、例年約半分が就職し、放送・通信・電子機器メーカーやソフトウェア会社など幅広い分野で活躍しています。進学は、本校の専攻科入学及び国立大学の工学部を中心に理学部や経済学部等の 3 年次に編入しています。

(電子工学科)

電子工学（通称エレクトロニクス）とは、トランジスタやIC等の半導体を用いて構成する電子回路の応用分野を指します。電子工学の分野は大変広く、半導体（現在ではIC）はもちろん、家庭電化機器（テレビ、ビデオ、CDプレーヤー、ゲーム機等）、コンピュータ、通信機器（インターネット、携帯電話、衛星通信）、自動制御機器（ロボット、無人工場、新幹線等）、医療電子機器（X線、CT、MRI装置）と無数の製品にその技術は使われています。電子工学なくして現代社会は成り立たないといっても過言ではありません。電子工学を学ぶことは、上述の様な幅広い分野で活躍する技術者になるための基礎をつくることです。

電子工学科のカリキュラムは、将来色々な分野で活躍するために特定の分野に偏らないように配慮されています。即ち半導体関係、電子回路関係、コンピュータ関係、情報処理関係、制御工学関係及び通信工学関係と幅広く勉強します。さらに電気基礎理論関係を重視しているので大学や専攻科に入学するのに有利です。

(電子制御工学科)

身の回りにある家電製品、携帯電話、自動車、銀行の端末機、病院などにある医療機器やそれらを製造する自動化機器にはマイクロコンピュータが組み込まれています。このために必要な技術は「組み込み技術」と呼ばれ、現代生活と産業界を支える最重要な技術の一つです。電子制御工学科では、この「組み込み技術」を修得するために「メカトロニクス」や「ロボット」というシステムを構築する技術を学びます。

具体的には、利用者との接点となる「マルチメディア・インターネット技術」、状況をとらえ的確な動作を行う「センサー・コントロール技術」、これらの技術の高度化のための「コンピュータ技術」、および全ての技術を統合する「エレクトロニクス技術」を大きな柱として学習していきます。

また、自由で柔軟な発想で「ものづくり」ができるような学習環境を提供しています。ものづくりを行い、それが完成したときの喜びと達成感を得ることは、教室や書籍からは決して学べない活きた知識となります。

さらに、国際化の時代に対応するために4年次の海外教育研修旅行、外国人講師による英語による専門科目の授業、海外からの交流学生受け入れなどの国際交流を推進しています。

電子制御工学科は、技術者に要求されている専門技術と国際性を身に付ける場を提供します。

(情報工学科)

情報処理は、これまで人間の頭脳に委ねられてきましたが、今日の情報化社会では、人間の力にあまる情報処理には、多量にしかも高速にデータ処理を行うことができるコンピュータが使用されています。

これらの情報処理に関する分野を扱う工学が情報工学です。コンピュータを十分に活用するためには、それらの電子部品、電子回路やコンピュータと対話するための知識が必要です。さらに情報工学の分野はあらゆる学問領域にわたっており、どの分野にも通用する情報処理技術者が要求されています。

情報工学科は、そのような知識や技術を備えた実践技術者の育成を目標としています。低学年で電子工学、情報処理、通信工学等の基礎的な知識を学び、高学年で情報工学の理論面・実際面における専門的な技術を身につけ、各方面への柔軟な応用能力を養うよう教育課程が編成されています。

情報工学の重要性は今後ますます認識されることでしょう。情報工学科は、それにふさわしい学問のあり方や技術者の養成をめざして教育研究に励んでいます。

(専攻科)

専攻科は、高専本科における5年間の専門教育の上に、さらに高度な知識を持った専門技術者を2年間で養成するために設立されました。本科及び専攻科の単位取得、ならびに大学評価・学位授与機構の審査を経て、学士の学位が授与されます。

平成21年10月に熊本電波工業高等専門学校と八代工業高等専門学校の高度化再編に合わせて、本校の専攻科は平成22年4月から複合化と高度化をめざした2専攻を配置し、各専攻とも定員数を増加して充実した教育環境を提供しています。

新専攻科は、急速に進む科学技術の高度化と国際化に対応するために、高等専門学校本科の教育で修得した実践的技術をさらに深めた教育を実施するものであって、特定の専門工学領域におけるより高度の知識・素養とともに、複合領域に対応できる幅広い視野を身につけた実践的・創造的技術者を育成することを目的としています。

【熊本キャンパス】 電子情報システム工学専攻（定員24名）

本科の教育課程の専門基礎技術を基盤に、急速な技術の高度化・複雑化に対して、柔軟な創造工夫をもって未知なる複合領域の課題にも対応できる国際的視野を持った実践的・高度技術者の養成をめざします。

【八代キャンパス】 生産システム工学専攻（定員24名）

本科の教育課程の専門基礎技術を基盤に、イノベーション創成を担うことのできる技術者および地域産業の発展に貢献できる人材の養成をめざします。

4. 本科教育課程

一般科目（全学科共通）

授 業 科 目		単位 数	学 年 別 単 位 数					備 考
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
必修科目	国 語 I	9	3	3	2	※1		
	政 治 ・ 経 済	2	2					
	倫 理	2		2				
	世 界 史	2		2				
	日 本 史	2			2			
	地 理	2	2					
	数 学	16	6	5	5			
	物 理	5		3	2			
	化 学	5	3	2				
	保 健 ・ 体 育	10	3	2	2	2	1	
	音 楽	2	2					音楽・美術から 1 科目選択
	美 術							
	英 語 I	18	5	5	4	※2	※2	
	独 語 I	3				※3		
	修 得 単 位 数 計	78	26	24	17	8	3	
選択科目	中 国 語	1					※1	
	英 語 II	1					※1	
	独 語 II	1					※1	
	国 語 II	1					※1	
	法 学	2				※2		
	経 済 学	2				※2		
	哲 学	2				※2		
	社 会 学	2				※2		
	基礎科目応用第一	1	1					進級及び卒業に必要な単位に含めない単位である。
	基礎科目応用第二	1	1					
	基礎科目応用第三	1	1					
	開 設 単 位 数 計	15	0 ～ 3	0 ～ 3	0 ～ 3	8 ～ 11	4 ～ 7	
	修 得 単 位 数 計	3	0	0	0	2	1	
開 設 単 位 数 合 計		93	26 ～ 29	24 ～ 27	17 ～ 20	16 ～ 19	7 ～ 10	
修 得 単 位 数 合 計		81	26	24	17	10	4	

※は、熊本電波高専学則第 13 条第 3 項（12 ページ参照）に定める授業科目を示す。次表以下についても同じ。

専門科目（情報通信工学科）

授 業 科 目		単 位 数	学 年 別 単 位 数					備 考
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
必修科目	応 用 数 学	4				※ 2	※ 2	
	応 用 物 理 学	2					※ 2	
	基 礎 電 気 学	6	3	*3				* 実験 1 を含む
	電 気 磁 気 学	4			2	※ 2		
	電 気 回 路 学	4			2	※ 2		
	電 子 回 路 学	4			2	※ 2		
	情 報 処 理	3		*3				* 実験 1 を含む
	基 礎 情 報 工 学	2	2					
	計 算 機 工 学	7		*3	2	※ 2		* 実験 1 を含む
	工 学 基 礎	2	2					
	計 測 工 学	2			2			
	電 子 工 学	2				※ 2		
	コンピュータ工学Ⅰ	2			2			C 言語
	コンピュータ工学Ⅱ	2			2			OS
	通信システム工学	2				※ 2		
	光・情報ネットワーク	2				※ 2		
	電波システム工学	2					※ 2	
	信 号 処 理	2					※ 2	
	知 的 生 産 学	2					※ 2	
	ヒューマンメディア工学	2				※ 2		
	情報通信工学実験	9			3	3	3	
	卒 業 研 究	7					7	
	修 得 単 位 数 計	74	7	9	17	21	20	

専門科目（電子工学科）

授 業 科 目		単 位 数	学 年 別 単 位 数					備 考
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
必修科目	応 用 数 学	4				※ 4		
	応 用 物 理 学	2				※ 2		
	基 礎 電 気 学	6	3	*3				* 実験 1 を含む
	電 気 磁 気 学	4			2	※ 2		
	電 気 回 路 学	4			2	※ 2		
	電 子 回 路 学	4			2	※ 2		
	情 報 処 理	3		*3				* 実験 1 を含む
	基 礎 情 報 工 学	2	2					
	計 算 機 工 学	7		*3	2	※ 2		* 実験 1 を含む
	工 学 基 礎	2	2					
	電 子 工 学 Ⅰ	2			2			
	電 子 工 学 Ⅱ	2				※ 2		
	電 気 計 測	2			2			
	情報処理応用Ⅰ	2			2			
	情報処理応用Ⅱ	1				※ 1		
	電子工学特論	2					※ 2	
	電気回路特論	1				※ 1		
	電子機器学	2				※ 2		
	制 御 工 学	2					※ 2	
	パ ル ス 回 路	2					※ 2	
	応 用 工 学 演 習	2					※ 2	
	電子工学実験	9			3	3	3	
	卒 業 研 究	7					7	
	修 得 単 位 数 計	74	7	9	17	23	18	

専門科目（電子制御工学科）

授 業 科 目		単 位 数	学 年 別 単 位 数					備 考
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
必修科目	応 用 数 学	4				※ 2	※ 2	
	応 用 物 理 学	2				※ 2		
	基 礎 電 気 学	6	3	*3				* 実験 1 を含む
	電 気 磁 気 学	4			2	※ 2		
	電 気 回 路 学	4			2	※ 2		
	電 子 回 路 学	4			2	※ 2		
	情 報 処 理	3		*3				* 実験 1 を含む
	基 礎 情 報 工 学	2	2					
	計 算 機 工 学	7		*3	2	※ 2		* 実験 1 を含む
	工 学 基 礎	2	2					
	プログラミング通論	2			2			
	プログラミング演習	2			2			
	マイクロコンピュータ	2			2			
	オペレーティングシステム	2				※ 2		
	制 御 工 学	4				※ 2	※ 2	
	計 測 工 学	2				※ 2		
	工 学 力 学	2				※ 2		
	ロ ボ ッ ト 工 学	2					※ 2	
	メカトロニクス工学	2					※ 2	
	電子制御工学実験	9			3	3	3	
	卒 業 研 究	7					7	
	修 得 単 位 数 計	74	7	9	17	23	18	

専門科目（情報工学科）

授 業 科 目		単 位 数	学 年 別 単 位 数					備 考
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
必修科目	応 用 数 学	4				※ 4		
	応 用 物 理 学	2					※ 2	
	基 礎 電 気 学	6	3	*3				* 実験 1 を含む
	電 気 磁 気 学	4			2	※ 2		
	電 気 回 路 学	4			2	※ 2		
	電 子 回 路 学	4			2	※ 2		
	情 報 処 理	3		*3				* 実験 1 を含む
	基 礎 情 報 工 学	2	2					
	計 算 機 工 学	7		*3	2	※ 2		* 実験 1 を含む
	工 学 基 礎	2	2					
	プログラミング通論	2			2			
	プログラミング演習	2			2			
	情報ネットワーク論Ⅰ	2			2			
	情報ネットワーク論Ⅱ	2				※ 2		
	ア ル ゴ リ ズ ム 論	2				※ 2		
	オペレーティングシステムⅠ	2				※ 2		
	数 理 情 報 工 学	2					※ 2	
	コンピュータアーキテクチャ	2					※ 2	
	マルチメディア活用論	2					※ 2	
	情 報 理 論	2					※ 2	
	情 報 工 学 実 験	9			3	3	3	
	卒 業 研 究	7					7	
	修 得 単 位 数 計	74	7	9	17	21	20	

全学科共通選択科目

授 業 科 目		単 位 数	学 年 別 単 位 数					備 考
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
全 学 科 共 通 選 択 科 目	コミュニケーション装置工学	1					※1	
	波動情報工学	1					※1	
	電気通信法規	1				※1		
	通信基礎演習	1				※1		
	交換ネットワーク工学	1					※1	
	通信プロトコル工学	1					※1	
	応用プログラムⅠ	1				※1		
	応用プログラムⅡ	1				※1		
	制御技術工学	1					※1	
	材料基礎工学	1					※1	
	環境技術工学	1				※1		
	センシング工学	1					※1	
	光デバイス工学	1					※1	
	福祉・教育工学	1					※1	
	映像メディア工学	1					※1	
	認知応用工学	1					※1	
	伝送回路学	1				※1		
	電子工学演習Ⅰ	1				※1		
	電子工学演習Ⅱ	1				※1		
	電子工学演習Ⅲ	1				※1		
	電子工学演習Ⅳ	1				※1		
	オプトエレクトロニクスⅠ	1					※1	
	オプトエレクトロニクスⅡ	1					※1	
	電子材料Ⅰ	1					※1	
	電子材料Ⅱ	1					※1	
	電子計測Ⅰ	1					※1	
	電子計測Ⅱ	1					※1	
	信頼性工学Ⅰ	1					※1	
	信頼性工学Ⅱ	1					※1	
	電気機器学Ⅰ	1					※1	
	電気機器学Ⅱ	1					※1	
	通信方式Ⅰ	1					※1	
	通信方式Ⅱ	1					※1	
	電波伝送学Ⅰ	1					※1	
	電波伝送学Ⅱ	1					※1	
	情報理論Ⅰ	1					※1	
	情報理論Ⅱ	1					※1	
	信号処理Ⅰ	1					※1	
	信号処理Ⅱ	1					※1	
	制御機器学	1			1			
	電子制御回路学	1					※1	
	デジタルIC回路	1					※1	
	メディア工学	1					※1	
	画像処理工学	1					※1	
	フィルタ設計論	1					※1	
	ソフトウェア工学	1					※1	
	オブジェクト指向プログラム	1					※1	
	知識情報処理	1					※1	
	情報通信工学	1					※1	
	プログラム言語特論	1				※1		

授 業 科 目		単 位 数	学 年 別 単 位 数					備 考
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
全 学 科 共 通 選 択 科 目	ハードウェア設計論	1				※1		
	マイクロコンピュータ特論	1					※1	
	電子制御工学演習	2			1	※1		
	技 術 英 語	1				※1		
	ディジタル信号処理概論Ⅰ	1				※1		
	ディジタル信号処理概論Ⅱ	1				※1		
	ディジタル信号処理概論Ⅲ	1					※1	
	数 値 計 算 論 Ⅰ	1				※1		
	数 値 計 算 論 Ⅱ	1				※1		
	コンパイラ構成論Ⅰ	1					※1	
	コンパイラ構成論Ⅱ	1					※1	
	プログラミング特論Ⅰ	1				※1		
	プログラミング特論Ⅱ	1				※1		
	デ ー タ 構 造 Ⅰ	1					※1	
	デ ー タ 構 造 Ⅱ	1					※1	
	情 報 通 信 工 学 Ⅰ	1					※1	
	情 報 通 信 工 学 Ⅱ	1					※1	
	情報ネットワーク特論Ⅰ	1					※1	
	情報ネットワーク特論Ⅱ	1					※1	
	オペレーティングシステムⅡ	1					※1	
	情 報 数 学 Ⅰ	1					※1	
	情 報 数 学 Ⅱ	1					※1	
	特 別 研 究 Ⅰ	1					※1	
	特 別 研 究 Ⅱ	1					※1	
	インターンシップ A	4				4		進級及び卒業に必要な単位に含めない単位である。
	インターンシップ B	3				3		
	インターンシップ C	2				2		
	インターンシップ D	1				1		
	専門科目応用第一	1			1			
	専門科目応用第二	1			1			
	専門科目応用第三	1			1			
	ゼミナール 第一	1			1			
	ゼミナール 第二	1			1			
開 設 単 位 数 合 計		90	0～5	0～5	2～7	30～35	53～58	
修 得 単 位 数 合 計		12	0	0		12		

熊本電波高専学則（抜粋）

第13条 学年ごとの授業科目及びその単位数は別表第1、別表第2の1及び別表第2の2のとおりとする。

2 各授業科目の単位数は、30単位時間（1単位時間は、50分を標準とする。）の履修を1単位として計算するものとする。

3 前項の規定にかかわらず、別に定める授業科目については、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算することができる。

一 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で別に定める時間の授業をもって1単位とする。

二 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で別に定める時間の授業をもって1単位とする。

5. 学 寮

構内に教育寮としての学生寮が設置されています。学寮は「明和寮」と称し、冷暖房完備の個室又は2人室の居室です。それぞれにインターネット接続可能な設備、学習机、椅子、本棚、ベッド、ロッカーなどが設置され、そのほか食堂、浴室、休養室、洗面洗濯室、多目的室（パソコン室、図書室）、創作工房、補食談話室なども設置しています。

学寮は、単に日常生活の場であるのみならず、将来社会人として互いに協力できる人間形成の場として重要な意義を持ちます。

寮経費 寄宿料 月額 800 円（個室）、700 円（2 人室）

食 費 日額 1,000 円

管理費 月額 2,800 円

電気料 月額 個人の電気使用量による。

※2月・3月分は、2月に徴収します。

6. 学 費

入学時に必要な学費は、おおよそ次のとおりです。

入 学 料	84,600 円	
授 業 料	117,300 円	年額 234,600 円のうち前期分
後 援 会 費	13,000 円	年額 20,000 円のうち前期分 + 入会金 3,000 円
学 生 会 費	3,500 円	年額 5,400 円のうち前期分 + 入会金 800 円
見学旅行積立金	50,000 円	
教 材 費	約 2,000 円	学科により多少異なる。
そ の 他	約 33,000 円	教科書代等
計	約 303,400 円	

※上記の納付金額は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

7. 奨学制度

学業成績優秀、かつ経済的理由により学資の支弁が困難と認められる者に対して選考の上、日本学生支援機構等から奨学金が貸与される制度があります。

なお、家庭の経済状況と学業成績によっては、授業料の納入を免除する制度もあります。

8. 学生会の活動

学生の自主的な活動を通して、楽しみながら学生生活を充実させ、豊かな人間性を育成するため学生会員で構成する「学生会」があります。

学生会は、学校の指導のもとにホームルームを基盤とする活動のほか、ほとんどの学生がそれぞれ好きなクラブや同好会に加入して、運動や文化活動に励んでいます。

（クラブ）

陸上、野球、バスケット、バレー、卓球、柔道、剣道、サッカー、水泳、テニス、バトミントン、ラグビー、空手、弓道、ソフトテニス、ハンドボール、吹奏楽、軽音楽、電子計算機、イラスト研究、天文、合気道、写真、ピアノ、茶道など

（同好会）

フットサル、ダンス、ゴルフ、自転車、ボランティア活動など

9. 卒業後の進路

(1) 就 職

CTC システムサービス、CTC テクノロジー、JAL エンジニアリング、JR 九州、JR 東海、JR 西日本、KDDI テクニカルエンジニアリングサービス、NEC ネットエスアイ、NEC ネットエスアイ・エンジニアリング、NTT コムウェア九州、NTT ネオメイト九州、TDC ソフトウェアエンジニアリング、TOTO、アイシン九州、アイシン精機、アルファシステムズ、アルメックス、エステンナイン京都、エヌアイシー・ネットシステム、オムロン阿蘇、オムロンリレーアンドデバイス、キャノン、キャノンシステムアンドサポート、キャノンマーケティングジャパン、九州電子、九州電力、京セラ（鹿児島川内工場）、京セラコミュニケーションシステム、コニカミノルタビジネスソリューションズ、サイバーコム、サントリープロダクツ、サントリーホールディングス、シスウェーブ、システムニシツウ、ソニー、ソニーセミコンダクタ九州、ソフト九州、ダイキン工業、中部電力、東京エレクトロン FE、東京エレクトロン九州、東京カソード研究所、東京電力、東芝エレベータ、トヨタテクニカルディベロップメント、ニコン、西日本高速道路エンジニアリング九州、西日本高速道路ファシリティーズ、日本精工、日本ソフトウェア技研、日本電子材料、日本ビジネスエンジニアリング、日本モレックス、パナソニックコミュニケーションズ、阪神エレクトリック、日立国際電気、日立ビジネスソリューション、日立メディコ、平田機工、ヒラタソフトウェアテクノロジー、フィリップスエレクトロニクスジャパン、富士重工業、富士通、富士通アドバンストソリューションズ、富士通九州システムズ、富士電機システムズ、富士通マーケティング、ベアールートシステム、堀場エステック、本田技研工業、三菱重工業（長崎造船所）、三菱電機エンジニアリング、三菱電機システムサービス、三菱電機プラントエンジニアリング、森精機製作所、安川エンジニアリング、ヤマハ発動機、リコー、菱栄テクニカ、旭化成、安川電機、関西電力、熊本日日新聞社、新電元熊本テクノロジーサーチ、大和製罐、中央電子工業、中外製薬工業、東レ、東芝プラントシステム、日産テクノ、熊本県警察 など

(2) 進 学

卒業後さらに勉強を続けたい人は、本校専攻科への進学又は大学 3 年次に編入学することができます。

なお、最近の進学先は次のとおりです。

熊本高等専門学校専攻科、豊橋技術科学大学、長岡技術科学大学、岩手大学、東北大学、山形大学、茨城大学、筑波大学、埼玉大学、千葉大学、東京工業大学、電気通信大学、首都大学東京、福井大学、信州大学、大阪大学、和歌山大学、島根大学、岡山大学、広島大学、山口大学、高知大学、九州大学、九州工業大学、佐賀大学、長崎大学、熊本大学、大分大学、宮崎大学、鹿児島大学、琉球大学、上智大学、大阪経済大学、同志社大学、広島市立大学、久留米大学、航空大学校 など

10. JABEE 対応教育プログラムについて

JABEE 対応教育プログラムは、高専 4、5 年及び専攻科 1 年、2 年の教育課程から構成されています。新専攻科には JABEE 対応教育プログラムとして、熊本キャンパスに「電子・情報技術応用工学コース」、八代キャンパスに「生産システム工学プログラム」を設定しています。

熊本キャンパス本科卒業生で「電子・情報技術応用工学コース」へ入学を希望する者は、専攻科進学後に履修登録を行うことができます。

詳しくは、「JABEE 対応教育プログラムに関する履修の手引き」を参照してください。

平成 24 年度 熊本高等専門学校

編 入 学 願 書

				受験番号	※	
志 願 者	志 望 学 科	第 1 志 望	工学科		第 2 志 望	工学科
	ふ り が な				性 別	男 ・ 女
	氏 名				生年月日	平成 年 月 日生
	ふ り が な					市外局番()
	現 住 所	〒 —			電 話	—
	学 歴	学 校 平成 年 月 卒業 ・ 卒業見込				
選考結果通知書受信場所		〒 —				

注 意 事 項

1. 記入前に編入学者募集要項を熟読の上、インク又はボールペンで正確・丁寧に記入してください。
2. ※印の欄は記入しないでください。
3. 第1志望学科以外の学科に入学の意思のある者は、第2志望の学科名を記入し、意思のない者は当該欄に「斜線」を引いてください。
4. 「選考結果通知書受信場所」の欄は、誤記等により受取人不明で返送されないように正確に詳しく記入してください。出願後、転居などのために受信場所を変更する場合、直ちに熊本高等専門学校熊本キャンパス学生課に連絡してください。

振込金受取書・振込受付書を貼ってください。

平成24年度		受験写真票	
熊本高等専門学校		熊本高等専門学校	
第1志望学科	受験番号		
工学科	※		
ふりがな 志願者氏名			
生年月日	平成	年	月 日生
(写真)			

注 1. 写真は、平成23年4月以降に撮影した
正面、上半身、脱帽（縦5.0cm、横3.5cm）
のものとなります。
2. ※印の欄は記入しないでください。

(切りはなさないこと)

平成24年度		編入学受験票	
熊本高等専門学校		熊本高等専門学校	
受験番号	※		
第1志望学科	工学科		
氏名			
検査場	熊本県合志市須屋2659-2 熊本高等専門学校 熊本キャンパス 電話 096-242-6197		
検査日	平成23年7月21日（木）		
時及び時間割	9:00	10:00	11:30
	9:50	11:20	12:20
英語	数学	小論文	専門科目
			面接

注 1. 氏名欄に氏名をはっきり記入してください。
2. ※印の欄は記入しないでください。

裏面の受験心得をよく読んでください。

受 験 心 得

1. この受験票は必ず持参してください。
2. 受験中は必ず受験票を机の上に出しておいてください。
3. 下敷き、コンパス、定規、分度器、電卓及び翻訳機能・計算機・地図付き等の時計の使用は禁止します。
4. 携帯電話、P H S 等の持ち込みは禁止します。
5. 参考書及び用紙類の検査場への持込みは一切認めません。
6. 受験中検査執行者の指示に従わないとき又は不正行為があると認めたときは直ちに退場を命ずることがあります。
7. 受験当日は筆記用具、消しゴム及び弁当を持参してください。
8. 集合時間（午前 8 時 40 分）に遅れないように注意してください。

○検定料の振り込みについて

- ・必ず銀行の受付窓口で払い込み、ATM（現金自動預払機）、パソコン、携帯電話等は使用しないでください。
- ・振込時に必要な振込手数料は、志願者本人の負担となります。
- ・依頼人名は、志願者本人の氏名を記入してください。

振込金受取書・振込受付書
(兼振込手数料受取書)
(学校提出用)

平	成	年	月	日	
金 額			¥	1 6 5 0 0	円
先方銀行	肥後銀行 八代支店				
お受取人	預金種目	普通	口座番号	1 8 6 2 8 6 5	
	(氏名) 独立行政法人国立高等専門学校機構本部				
ご依頼人	(志願者氏名) 様				
備考			手数料		
振込金受入区分			現金・当座小切手等		
			預金払戻請求書・口座振替		

〈取扱店〉 銀行 _____ 店 _____

振込金受取書・振込受付書
(兼振込手数料受取書)
(本人保存)

平	成	年	月	日	
金 額			¥	1 6 5 0 0	円
先方銀行	肥後銀行 八代支店				
お受取人	預金種目	普通	口座番号	1 8 6 2 8 6 5	
	(氏名) 独立行政法人国立高等専門学校機構本部				
ご依頼人	(志願者氏名) 様				
備考			手数料		
振込金受入区分			現金・当座小切手等		
			預金払戻請求書・口座振替		

〈取扱店〉 銀行 _____ 店 _____

電信扱 振込依頼書

ご依頼日	平成	年	月	日	電信扱	手数料			科 目
先方銀行	肥後銀行 八代支店				金 額			¥	1 6 5 0 0
受取人	預金種目	普通	口座番号	1 8 6 2 8 6 5	複 記				
	受取口座名	コウセンキコウホンブ 独立行政法人国立高等専門学校機構本部			振込金受入区分				現金・当座小切手等 預金払戻請求書・口座振替
(フリガナ)									
ご依頼人	(志願者氏名)				様	振替科目	普通預金・当座預金		
	(住所) 〒								
(電話) — —									

問い合わせ先：独立行政法人国立高等専門学校機構
熊本高等専門学校八代キャンパス管理課財務係
電話 (0965) 53-1228

・本指定用紙以外の使用はできません。
・自動振込機での振込はできません。
(銀行で切り離して下さい)

推 薦 書

平成 年 月 日

熊本高等専門学校長 殿

所 在 地

学 校 名

学校長名

職印

下記の者は本校在学中、学業成績・人物ともに優れ、貴校に編入学するのにふさわしい者と認めて推薦します。

記

ふりがな 氏 名		男・女	生年月日	平成 年 月 日生
在籍（出身） 学 科	科			
学 業 成 績 順 位	1 年	2 年	3 年	
	人中 位	人中 位	人中 位	
推 薦 理 由				

注（1） 推薦理由の記入については、本人の学業・人物・課外活動・態度等について具体的に記入してください。

（2） 在学中の者の3年次の学業成績順位は、1学期中間試験までの結果に基づいて記入してください。